

TTC スペクトル管理SWG寄書

日付 : 2005年1月7日

提出元 : ソフトバンク BB 株式会社

題名 : ISDN DSUにおける 320kHz超高周波成分フィルターの導入について

日本の ISDN サービスにおいて利用されている TCM 方式 (ITU-T 勧告 G.961 Appendix III) による伝送信号は、高調波のノイズも入ると完全に ADSL の周波数帯に重なる。そのため、同じカッドあるいは隣接カッドに ISDN 回線があると、ADSL は干渉を受け速度低下等の問題が発生する。そのため TCM 方式を利用する既存の ISDN DSU に 320kHz 超の高周波成分をカットするフィルターを取り付ける (内蔵または外付け) ことにより、ADSL 回線への干渉を低減することを提案する。

尚、本方式に関しスペクトル適合性計算を弊社において実施中であり、その結果が出しだい、本方式のスペクトル適合性確認を依頼する予定である。

以下に当アイデアの動作イメージを示す。

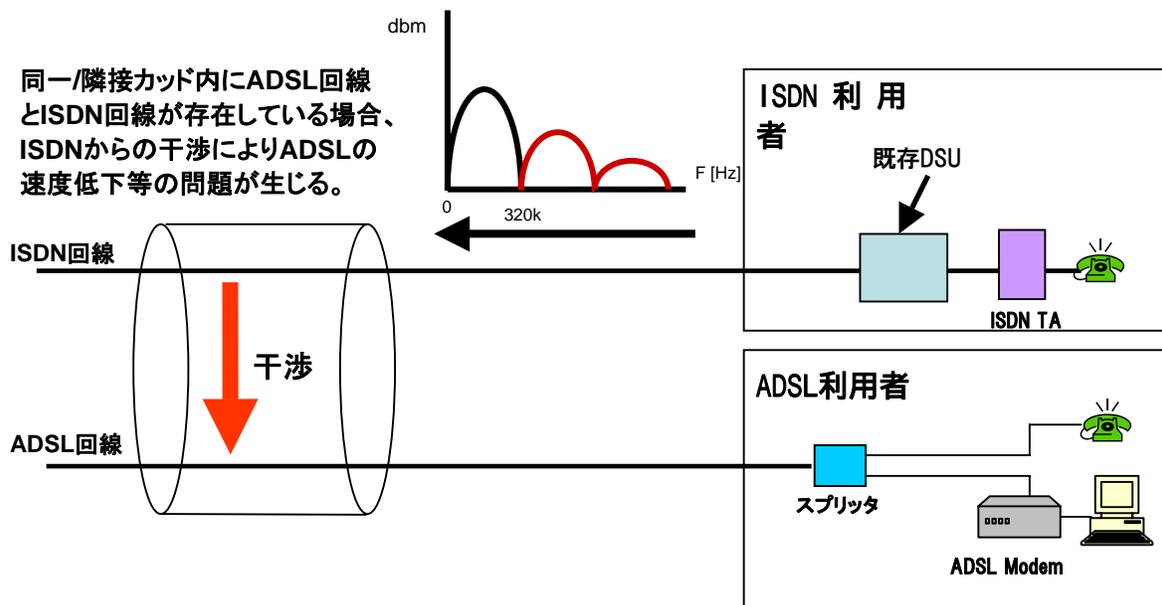


図1 既存 ISDN 回線からの ADSL への干渉

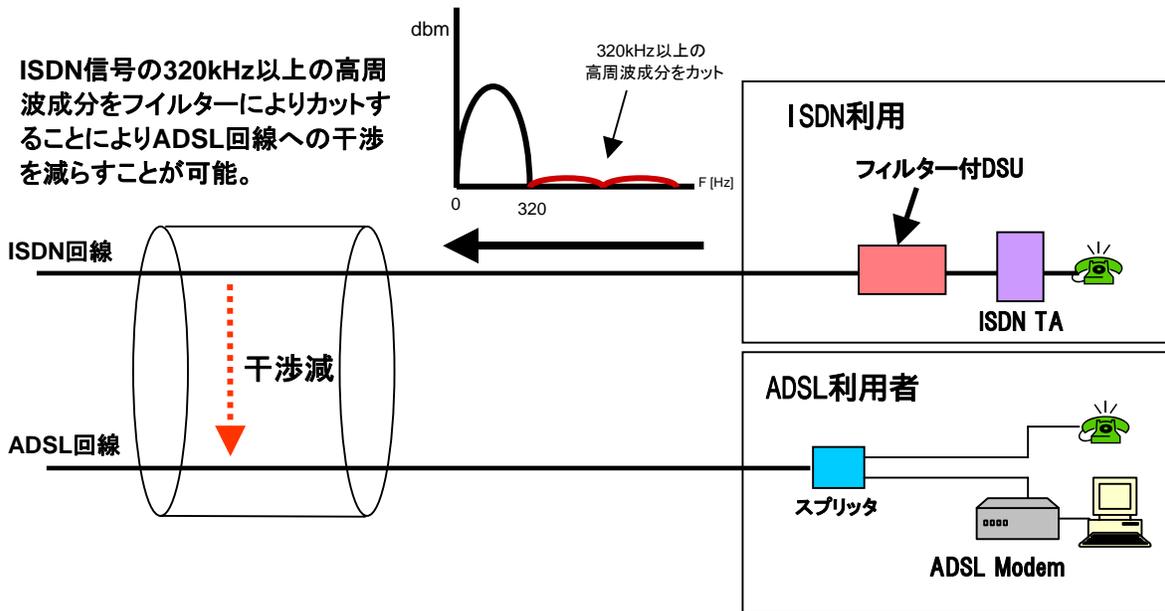


図2 DSU へのフィルター導入による ADSL 回線への干渉対策

-
以上

ソフトバンク BB(株)

筒井 多圭志 email :

田中 利信 :